



 実施区間

 10.0 ～20.0m未満
 5.0 ～10.0m未満
 3.0 ～ 5.0m未満
 0.5 ～ 3.0m未満
 0.5m未満

(1) この図は、取水口の水系と大倉川の下記の箇所について、水防法に基づき計画降雨により浸した箇所に想定される水深を水表示した図面である。

(2) この洪水想定は計画区域等では、指定時の大倉川の河床及び洪水調節施設の構造等を勘査して、洪水防衛に関する設計の基礎となる年超過確率 1/150（毎年、1 年に 1 回の規模を超える浸水が生ずる確率が 1/150（0.67%））の降雨に伴う洪水により大倉川が氾濫した箇所の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものである。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（浸水による）氾濫、シミュレーションの前記となる降雨を超える規模の降雨による浸水、高潮及び浸水による内陸等も考慮してまいりて、この浸水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の水深と異なる場合があります。

(1) 作成主体	宮城県
(2) 指定年月日	令和7年5月30日
(3) 告示番号	宮城県告示第366号
(4) 指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
(5) 対象となる河川	

名取川水系大倉川（実施区間）

左岸：寒風沢の合流点から大倉ダム上流まで
大倉ダム下流から広瀬川合流点まで

右岸：同上

(6) 指定の前提となる降雨 名取川水系大倉川 広瀬川流域の2日間総雨量 388.4mm

(7) 関係市町村 仙台市

S=20,000

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6 JHs 969を加工